

平成16年度第1回理事会記録

日時： 平成16年4月3日 15:30～17:50

場所：(株)ベネッセコーポレーション東京支社神保町オフィス 15階

出席者：

佐々木（顧問）、堀口（顧問）、松畑（会長）、沖原（副会長・関西）、金谷（副会長・関東甲信越）、板垣（副会長・東北）、村田（理事・関西）、野田（理事・関東甲信越）、大里（理事・九州）、藤井（理事・四国）、三浦（理事・中国）、渡邊（理事・中部）、佐久間（理事・東北）、加藤（理事・北海道）、玉井（幹事・関西）、馬場（幹事・関東甲信越）、坂本（幹事・九州）、竹中（幹事・四国）、松浦（幹事・中国）、酒井（幹事・中部）、竹村（幹事・北海道）、小篠（紀要編集委員長）、深澤（紀要編集事務局長）、高塚（事務局長）

報告事項：

高塚事務局長から、平成15年度第2回理事会以降の学会事務局の活動について報告がなされた。続いて、小篠紀要編集委員長から、平成15年12月9日開催の日本学術会議語学・文学研究連絡委員会の報告がなされた。

議題1 平成16年度役員について

高塚事務局長から、(資料1)に基づいて、平成16年度役員について確認がなされ、電話番号における修正を行うと共に、紀要編集事務局長を新たに役員として名簿に加えることが承認された。

議題2 平成16年度地区事務局について

高塚事務局長から、(資料2)に基づいて、平成16年度の各地区事務局の確認がなされ、住所及び電話番号における修正を行い承認された。

議題3 平成15年度会計・監査報告について

高塚事務局長から、(資料3)に基づいて、平成15年度会計報告がなされたが、予算と異なる主な点は、以下の通りである。

(1) 収入の部では、個人会員会費、賛助会員会費、査読料及び紀要販売が予想を上回ったが、紀要抜刷料及び預金利子が予想を下回った。

(2) 支出の部では、通信費のうち大会案内送付とプログラム送付費が非会員にも送付したために予算額を超えたが、紀要15号の送付が年度内にできなかったために紀要送付費

が予算を大きく下回った。しかし、印刷費が印刷部数の増加などにより、また、謝金が紀要への投稿者が多く査読謝金補助が増えたために予算を超えた。

続いて荒木・岡両会計監査委員からの書面での会計監査報告結果が紹介され、承認された。

議題4 平成16年度予算案について

高塚事務局長から、(資料4)に基づいて、平成16年度予算案の提案があり、承認された。昨年度からの主な変更点は、以下の通り。

(1) 収入の部では、個人会員会費は増額したが、紀要抜刷料及び預金利子は減額した。

(2) 支出の部については、研究成果出版助成費を新設した。これは、2年間の課題研究の成果をデジタル論文集の形で公表するにあたって作成費を補助して欲しいという申請に基づくものである。なお、経費全額を補助する代わりに、会員への実費販売を求めることになった。また、従来「予備費」としていたものを、「雑費」と「次年度への繰越」に改めた。さらに、昨年度の実績から、通信費と印刷費を増額した。

議題5 会費徴収方法について

高塚事務局長から、(資料5)に基づいて、会費徴収方法について、昨年度から各地区単位で、従来の方式と全国学会からの直接徴収の2方法から選択できるようにしたが、昨年度は全ての地区で従来の方法が採用されたこと及び今年度新方式に移行する場合も、事務量軽減と地区学会の会員とならずに全国学会の会員となることを防ぐために、各地区の会員名簿を従来どおり事務局に提出することが求められ、承認された。

議題6 第30回長野研究大会について

高塚事務局長から、(資料6)に基づき、長野研究大会での各地区担当のセッションに関して昨年度末の時点での情報が伝えられた後、渡邊長野大会実行委員長から、別資料に基づいて、第30回長野研究大会について、日程、会場などについて概要の説明がなされた後、酒井大会事務局長から、発表申し込み、参加申し込み、参加費徴収方法などについて詳細な説明がなされ、承認された。なお、参加費は、大会要綱を含めて、会員、非会員ともに4,000円とし、事前振込方式とすることが報告された。また、課題フォーラム、問題別討論会、シンポジウムに加えて、大会特別企画として小学校英語教育に関するセッションを加えることが承認されるとともに、一部テーマの修正が了承された。なお、大会案内作成の都合上、コーディネータ・提案者の所属など正確な情報を至急連絡するよう要請された。また、大会案内を送付するのに必要な部数を各地区毎に全国・大会事務局に連絡するよう

求められた。

議題7 紀要編集・学会賞候補者の推薦について

小篠紀要編集委員長から、(資料7)に基づき、紀要委員会の報告があり、次のような提案があり、了承された。

(1) ARELE 15号への投稿論文査読の結果、57編中25編(研究論文22、実践報告3)を掲載する。なお、掲載予定の研究論文中3編は、南東北研究大会における口頭発表論文ではなかった。

(2) 会員への発送は、4月中旬以降になる予定である。

続いて、学術論文賞候補論文について理由を付して推薦があり、了承された後、著者と論文タイトルとの紹介があった。また、8月の総会にて授賞式を行えるよう、受賞者に連絡して出席依頼をすることになった。

その他、査読委員の任期を定めるかについて提案され、長野大会までに編集委員会で原案を作成し理事会に提案することになった。また、第16号の査読に向けて、各地区に査読委員の必要人数を示して選出をお願いすることになった。

議題8 第31回研究大会について

第31回研究大会担当予定の北海道地区の加藤理事から、(資料8)に基づき、日程と概要が説明され承認された。

議題9 その他

高塚事務局長から、次回第2回理事会の日程が確認された後、現会長の任期満了に伴う次期会長候補者選定委員会を同日行うこと、については各地区から選定委員会委員を1人ずつ選出して事務局まで連絡するよう依頼がなされた。また、研究大会補助費の原資となる賛助会員会費の獲得に協力いただきたい旨の依頼があった。

平成16年度第2回および
臨時全国英語教育学会理事会記録

日時： (第2回) 平成16年8月6日 17:15~18:55
(臨時) 平成16年8月7日 12:15~12:35

場所：ホテルメトロポリタン長野

出席者：

堀口（顧問）、青木（名誉会長）、吉田（名誉会長）、松畑（会長）、沖原（副会長・関西）、金谷（副会長・関東甲信越）、板垣（副会長・東北）、瀬川（理事・関西）、野田（理事・関東甲信越）、大里（理事・九州）、藤井（理事・四国）、三浦（理事・中国）、渡邊（理事・中部）、佐久間（理事・東北）、加藤（理事・北海道）、小篠（紀要編集委員長）、深澤（紀要編集事務局長）、吉田（幹事・関西）、馬場（幹事・関東甲信越）、坂本（幹事・九州）、竹中（幹事・四国）、松浦（幹事・中国）、杉浦（幹事・中部）、佐々木（幹事・東北）、竹村（幹事・北海道）、酒井（長野研究大会事務局長）、門田（四国研究大会・オブザーバー）、高塚（事務局長）

報告事項：

会長挨拶の後、高塚事務局長から、平成16年度第1回理事会以降の学会事務局の活動について報告がなされた。

議題1 役員の変更について

高塚事務局長から、資料に基づいて、第1回理事会以後の役員の変更が確認され、承認された。また、紀要編集委員会の決定に基づき、役員に紀要編集副委員長2名を加えることになった。

議題2 第30回長野研究大会について

渡邊第30回長野研究大会実行委員長から挨拶があり、その後、酒井大会事務局長から、大会の準備状況等について報告がなされた。

議題3 総会での議題について

高塚事務局長から、資料に基づいて、第30回総会の議題について提案がなされ、承認された。

議題4 第31回札幌研究大会について

加藤理事から、資料に基づいて、第31回札幌研究大会について、開催日時・会場、および今後の予定などについて説明がなされ、承認された。なお、シンポジウムなどの講師謝金等について、次年度予算化の方向で検討することになった。

議題5 紀要編集について

小篠紀要編集委員長から、平成16年度第2回紀要編集委員会における審議事項について報告があり、承認された。

報告事項

(1) ARELE15号の刊行について

4月初旬に発行し、会員に送付したことが了承された。

(2) 学会賞候補者について

得点合計により村尾玲美さん（中部地区）を推薦することが了承された。

審議事項

(1) 紀要編集委員について

平成10年に制定された委員会規定の改定原案を審議し、修正ののち了承された。

(2) 紀要執筆要領について

一人当たり複数論文の投稿について審議し、投稿の規準を設定した。

(3) ARELE第16号の編集計画について

平成17年3月末に向けた編集計画が了承された。また、投稿申し込みは全国学会ホームページからメールによること、申し込み期限を8月31日（火）とすること、原稿〆切を10月31日（日）消印有効とすることを決定した。

議題6 次期会長候補者の推薦について（次期会長候補者選定委員会）

高塚事務局長から、任期満了に伴う次期会長候補者の選定については、理事会終了直前に開催した次期会長候補者選定委員会（各地区から1名、計8名の委員と事務局長で構成）から、金谷憲 現副会長が候補者に推薦されたのを受けて審議した結果、承認された。

会則にしたがって、臨時理事会において、金谷新会長から、竹中（四国）、渡邊（中部）、加藤（北海道）の各氏が副会長に推薦され、承認された。なお、会長の代行を務める副会長については、新会長から渡邊氏が指名され、承認された。

議題7 その他

(1) 研究大会での発表資格について

高塚事務局長から、研究発表をするために研究大会直前の入会申し込みがかなりあり、事務的な対応が難しくなっており、既会員の利益保護、公平性確保、および事務の簡素化の目的で、来年度研究大会より、発表資格を、「前年度の会員名簿に登録されている者」としたい旨提案があり、審議の結果、承認された。なお、会費の納入期限は2月末とし、その時点で作成する会員名簿によって、当該年度の紀要発送対象者と次年度の研究大会での発表有資格者を統一して確認することになった。またこのことは、総会でアナウンスするとともにHPにも掲載することになった。

(2) 次回理事会について

次回理事会は、平成17年4月2日(土)に東京において開催することが承認された。